月刊みんぱく 2016 2月号

編集後記

「夷酋列像」は、いまだに多くの謎に包まれた絵のようだ。なぜ描かれたのか？ どのような制作過程だったのか？ いつ、どうやって原本がフランスに渡ったのか？ 絵の構図や内容自体にも『ダ・ヴィンチ・コード』なみに、さまざまな暗号が秘められているようで、好奇心がくすぐられる。

当時の和人とアイヌの関係を知る手がかりになるのみならず、より大きな世界史の文脈から鳥瞰（ちょうかん）しても興味深い資料である。クナシリ・メナシの戦いがあった1789年といえば、ちょうどフランス革命勃発の年である。日本でもそれから一世紀もたたない間に明治維新となっている。封建社会から市民社会へと時代が大きくうねるなかでヨーロッパでは、18世紀末から19世紀前半のロマン主義思想のもと、いわゆる「高貴なる野蛮人」（the noble savage）のイメージが、絵画や文学の類型のひとつとなってゆく。「夷酋列像」も当時のアイヌの人びとの実態をあらわすというよりは、異質性を誇張しつつ、誇り高き人びととして描いたものだという。18-19世紀北米の歴史絵画におけるアメリカン・インディアンの描写と比較してみてもおもしろいのではないか。特別展で実物をじっくり見るのが楽しみである。（山中由里子）

●表紙：国立民族学博物館所蔵「夷酋列像図」より、
イコトイ、ツキノエ、ションコ。
図書資料番号　F104007177、F104011165

次号の予告

特集

アートの境界

月刊みんぱく 2016年2月号
第40巻第2号通巻第461号　2016年2月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　池谷和信
編集委員　山中由里子（編集長）　河合洋尚　菅瀬晶子
丹羽典生　丸川雄三　南真木人　吉岡乾
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　能登印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック
http://www.facebook.com/MINPAKU.official/
みんぱくツイッター
http://twitter.com/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology